

FY 03/2026

Financial Results

2026年3月期 決算説明会資料

サンワテクノス株式会社

東証プライム | 証券コード：8137

2026年5月19日（火）

<https://www.sunwa.co.jp/>

- ▶ 2026年3月期 決算概要
- ▶ 2027年3月期 業績予想
- ▶ 第12次中期経営計画 “SUN-WA Growth Plan 2027”
- ▶ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
- ▶ 株主還元

2026年3月期 決算概要

決算ハイライト

売上高 **1,483.2** 億円 前年比 6.3 %

営業利益 **40.5** 億円 前年比 15.7 %

経常利益 **47.7** 億円 前年比 25.2 %

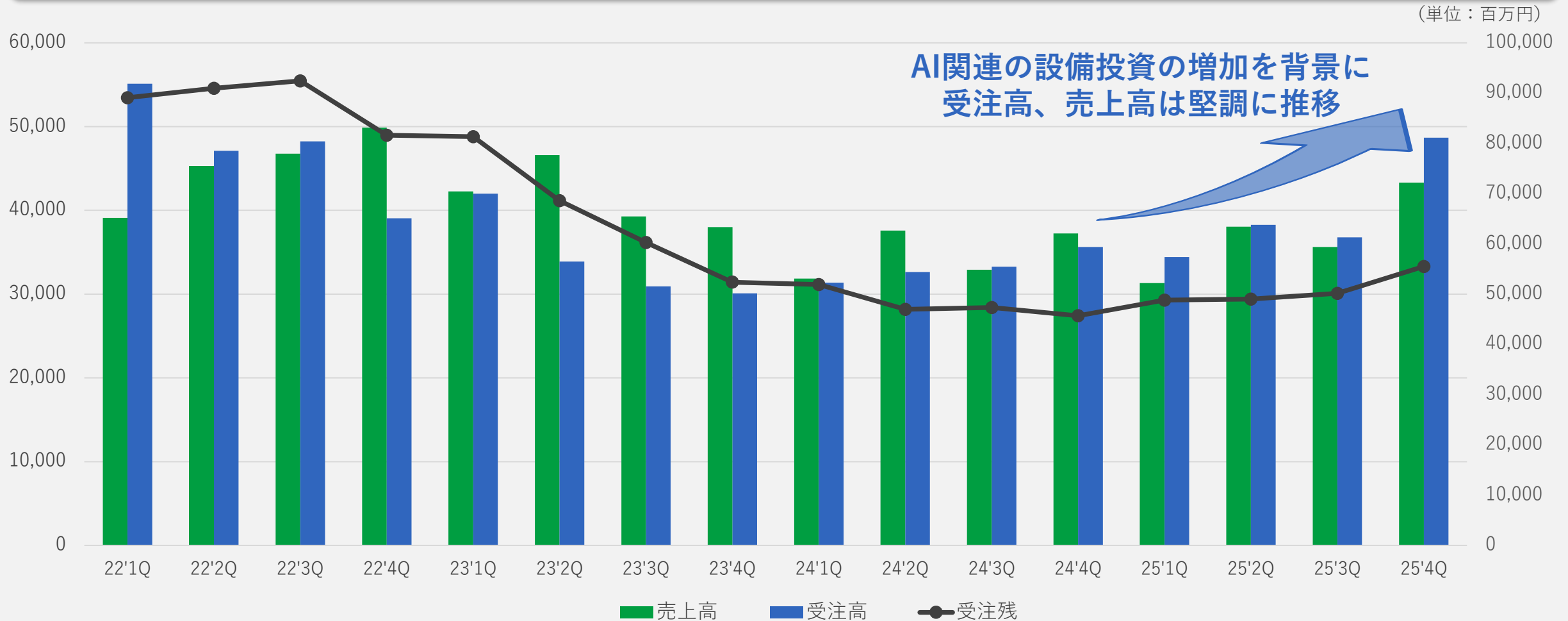
親会社株主に帰属する
当期純利益 **32.6** 億円 前年比 33.7 %

2026年3月期実績

市況低迷による設備投資の減少や手配調整が一巡したことに加え、AI関連の設備投資の増加を背景に、各業界からの需要は堅調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

四半期別実績

売上高は10四半期ぶりに400億円を回復
受注高は直近1年において、売上高を上回り、受注残は回復が続いている



地域別セグメント実績

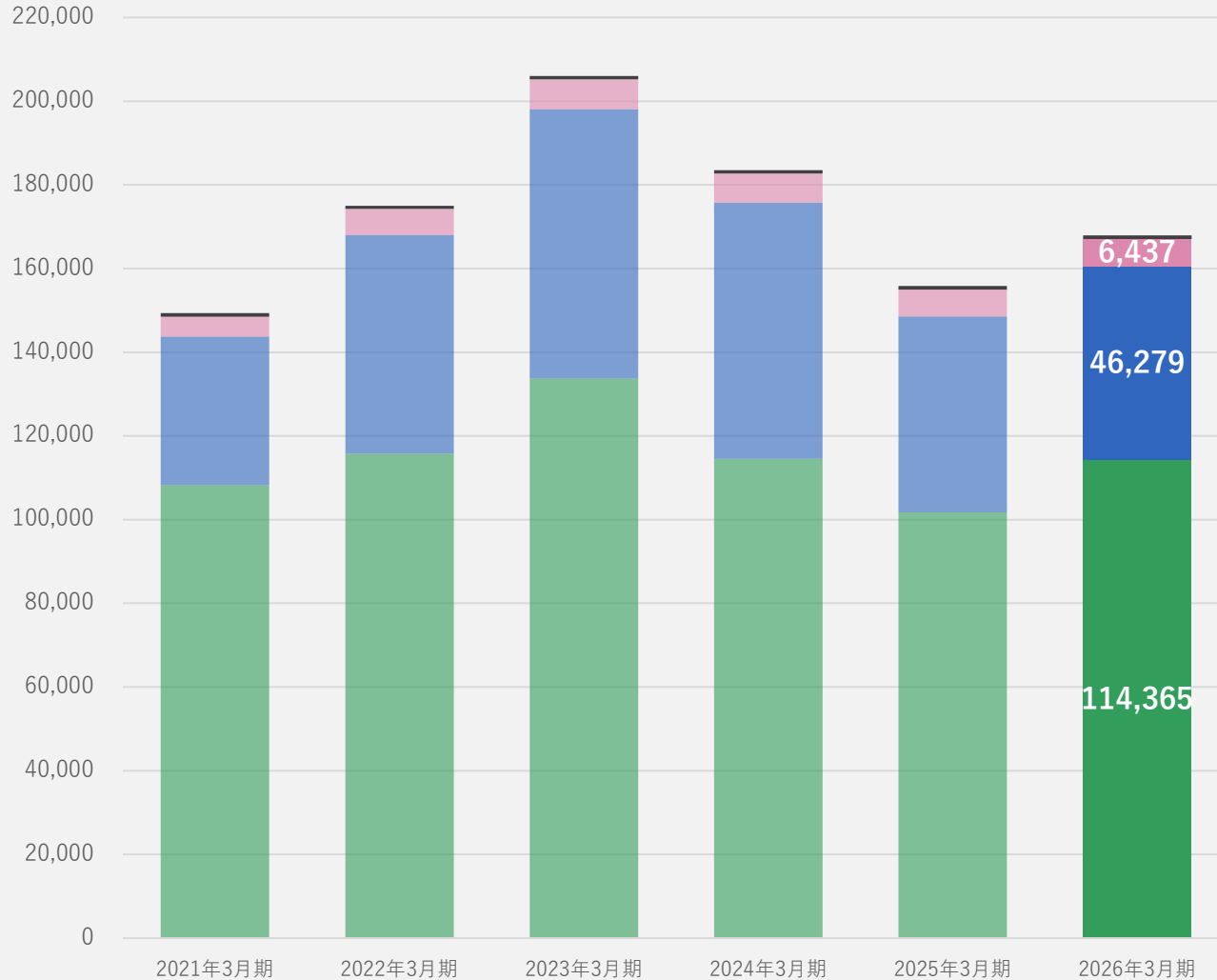
日本の堅調な伸びが牽引し、全体としても成長している。
アジアでは受注高・受注残が増加し、持ち直しの兆しが見られる。

単位：百万円
() は対前年同期比増減率

2026年3月期	売上高		セグメント利益		受注高		受注残	
日本	114,365	(12.4%)	2,912	(34.0%)	111,005	(29.9%)	40,113	(30.2%)
アジア	46,279	(△1.3%)	1,012	(△10.0%)	40,863	(0.8%)	13,104	(7.0%)
欧米	6,437	(1.0%)	50	(8.7%)	5,493	(△8.0%)	2,013	(△12.8%)
その他	854	(△1.0%)	32	(192.1%)	780	(△14.2%)	275	(△15.0%)
調整額	△19,608	(—)	52	(—)	—	(—)	—	(—)
合計	148,329	(6.3%)	4,058	(15.7%)	158,142	(19.0%)	55,506	(21.5%)

地域別セグメント実績

単位：百万円



日本

アジア

欧米

売上高 : 1,143億65百万円 (前年同期比12.4%増)

営業利益 : 29億12百万円 (前年同期比34.0%増)

- ・自動車関連業界向けの光学ユニットの販売が**増加**
- ・社会インフラ業界（航空機）向けの液晶の販売が**増加**
- ・マウンター業界向けのモータの販売が**増加**
- ・太陽光関連業界向けの蓄電池用パワーコンディショナーの販売が**増加**

売上高 : 462億79百万円 (前年同期比1.3%減)

営業利益 : 10億12百万円 (前年同期比10.0%減)

(中国)

- ・太陽光関連業界向けのモータ・スカラロボットの販売が**減少**
- ・FA業界向けのボードコンピュータ・電子部品の販売が**増加**
- ・半導体製造装置業界向けの電子部品の販売が**増加**

売上高 : 64億37百万円 (前年同期比1.0%増)

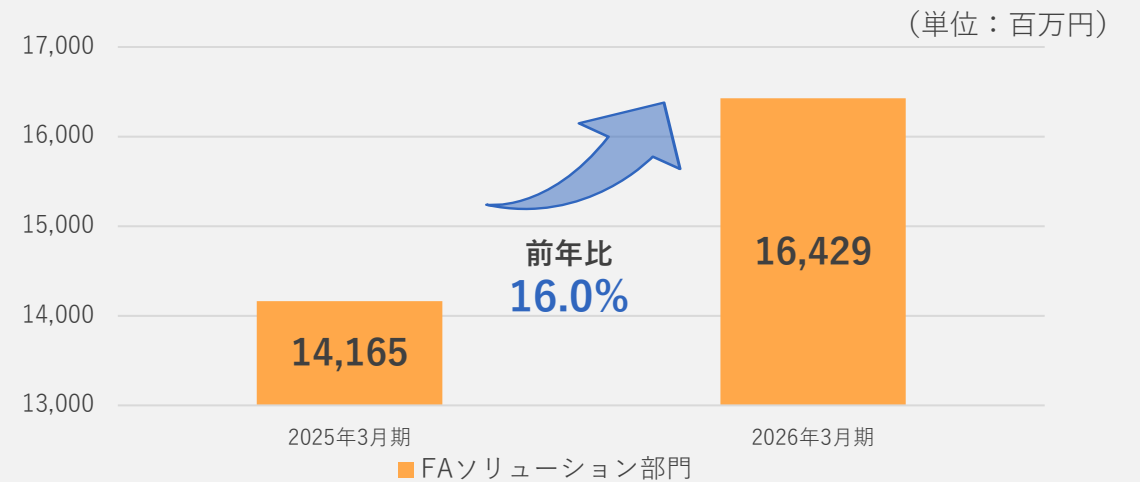
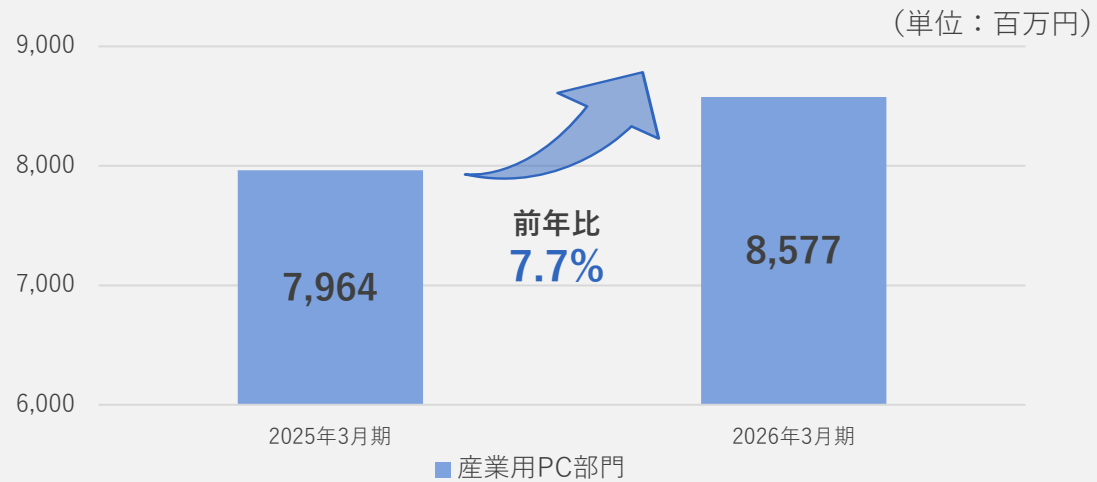
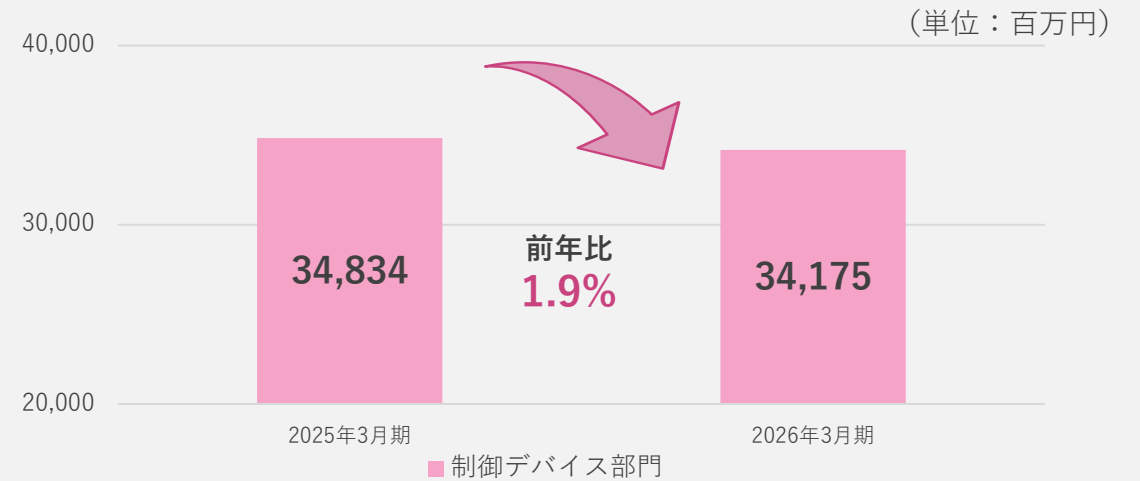
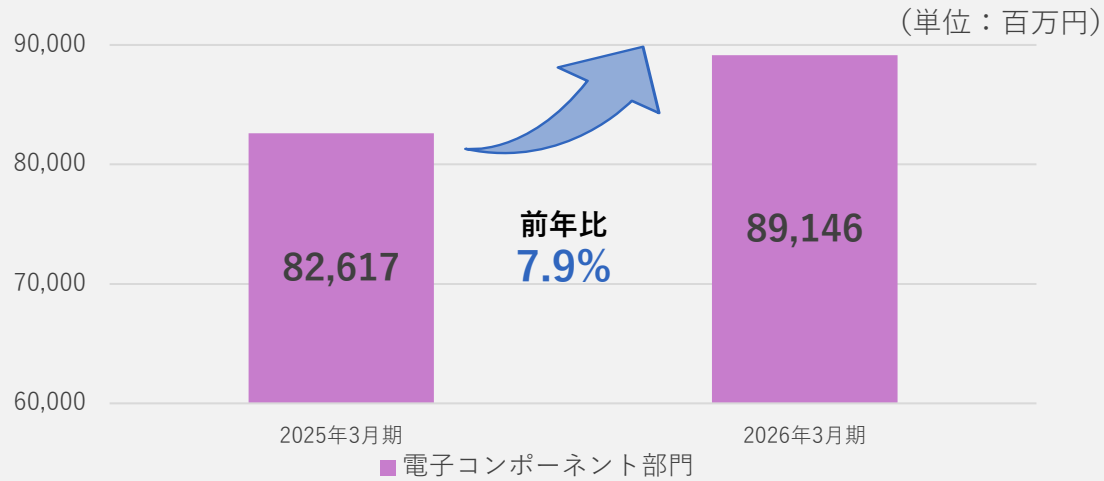
営業利益 : 50百万円 (前年同期比8.7%増)

(アメリカ)

- ・半導体製造装置業界向けのケーブルの販売が**増加**

*セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております

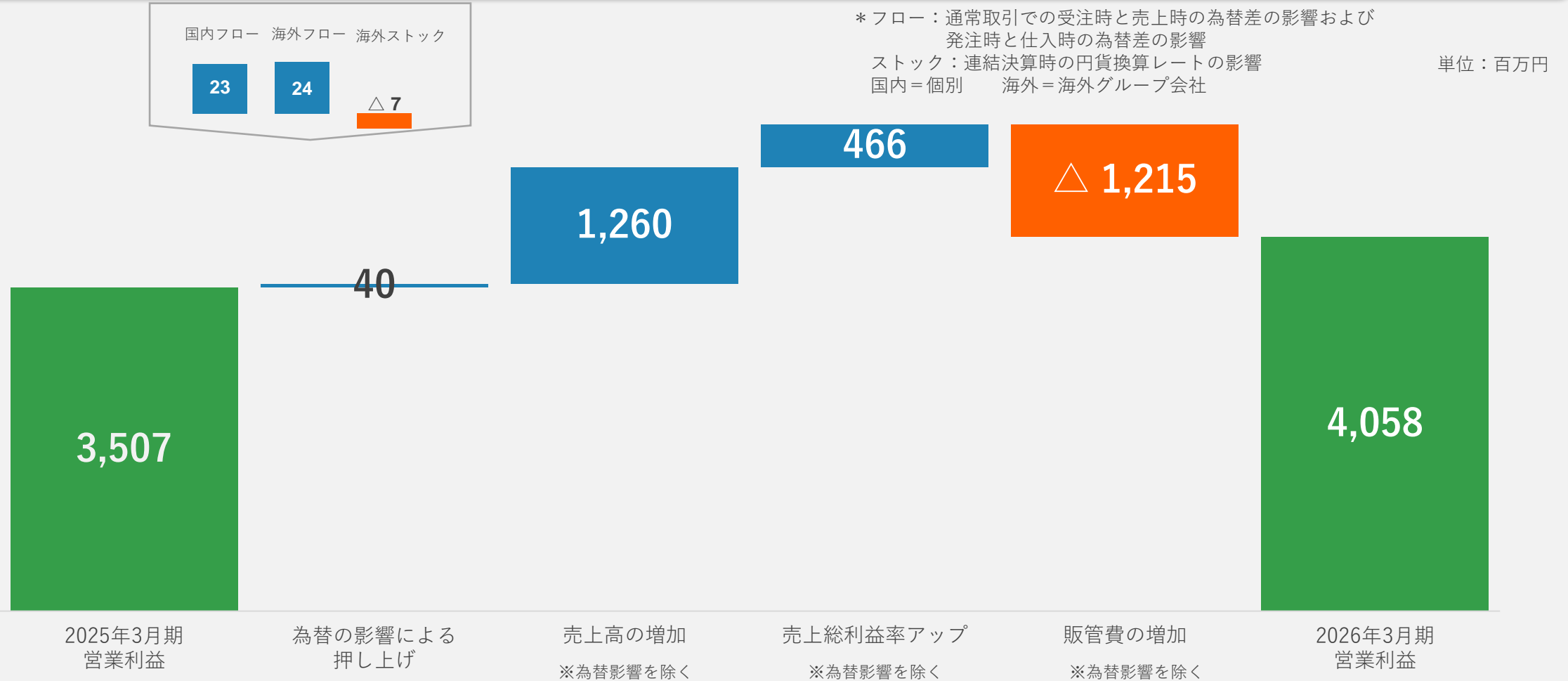
部門別実績



※当社グループでは当連結会計年度より事業区分を見直し、新たに[電子コンポーネント部門][制御デバイス部門][産業用PC部門][FAソリューション部門]の4部門としております。

営業利益 増減分析

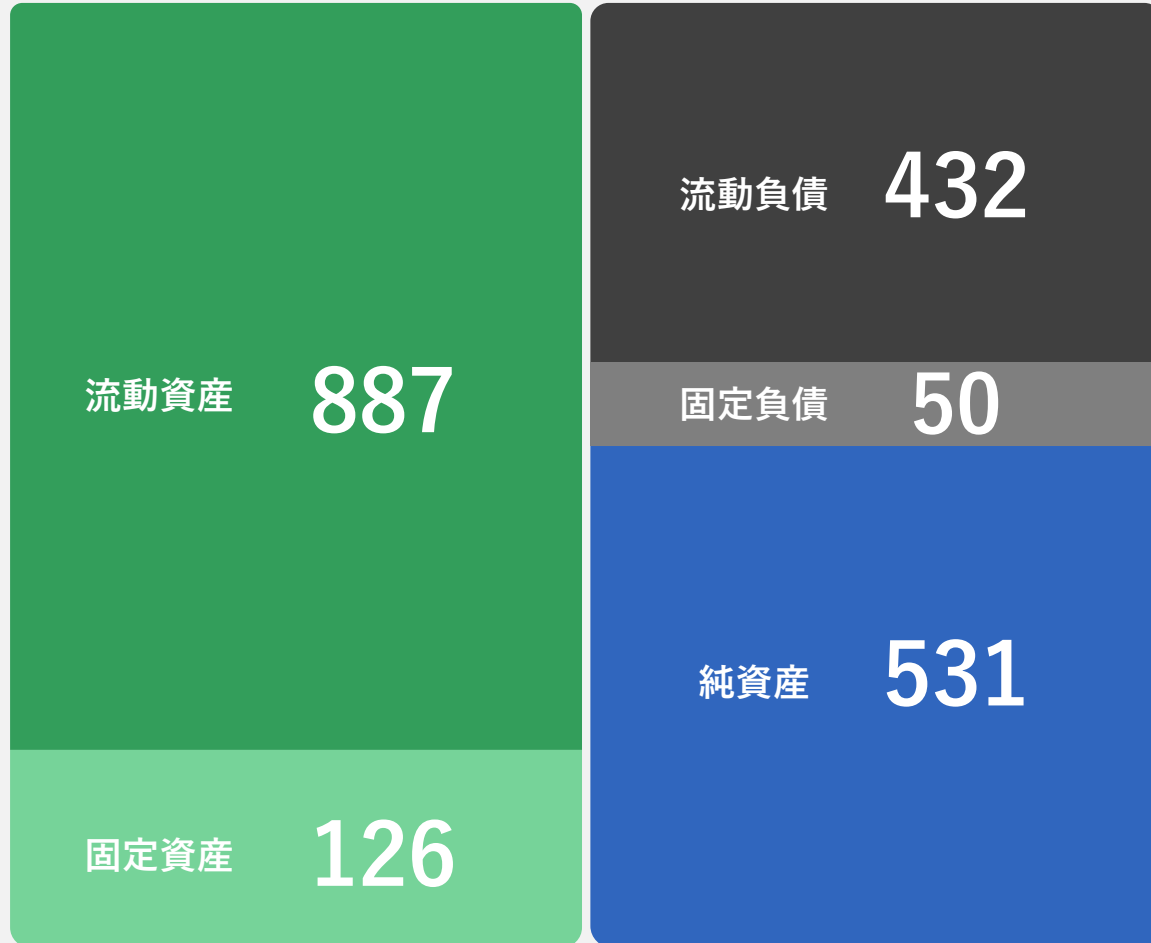
販管費は増加したが、売上高の増加と収益性を意識した取り組みにより売上総利益率が改善し、前年同期比で増益



BS概況

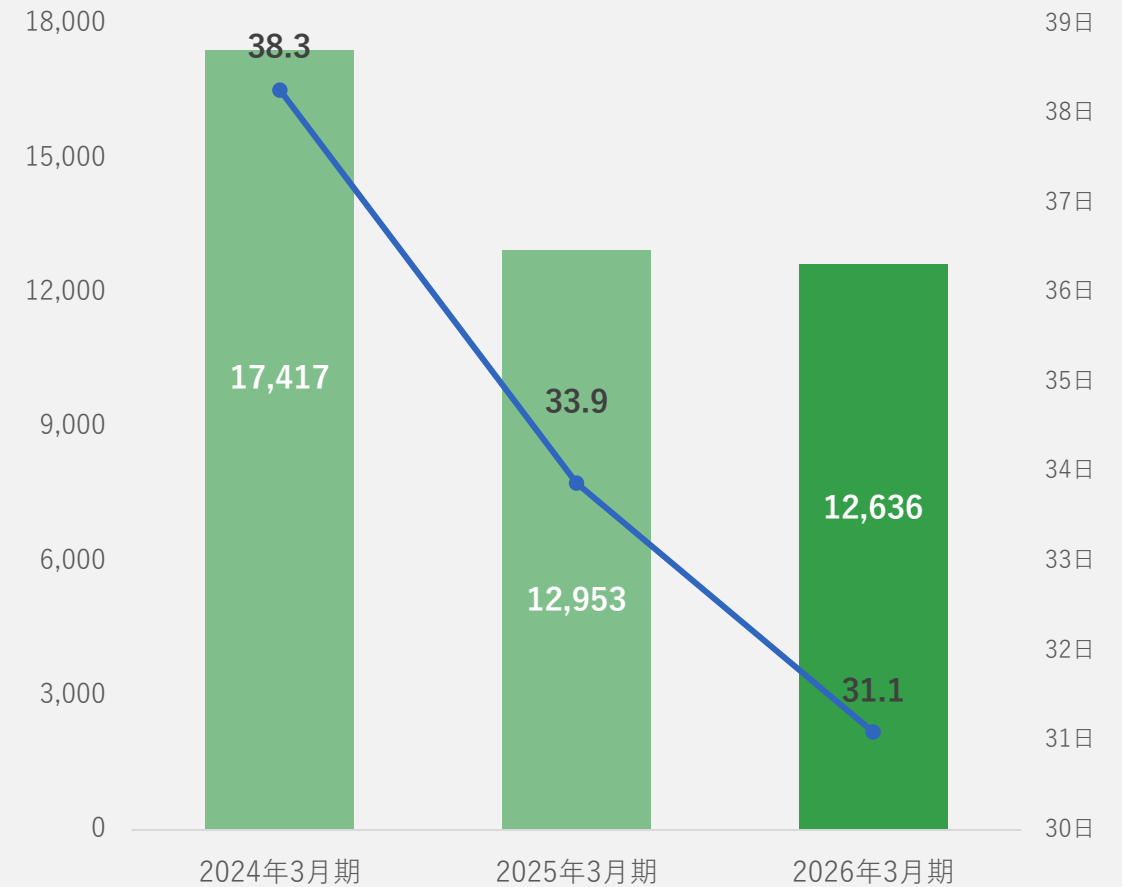
キャッシュコンバージョンサイクルは継続して改善

単位：億円



棚卸資産

(単位：百万円・日)



■ 棚卸資産 ● 棚卸資産回転日数 (注)：棚卸資産回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365日

2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想

米国関税政策や米中関係の動向、地政学リスクの高まりなどを背景に、不透明な状況が続くが、AI関連の設備投資、人手不足の深刻化を背景とした省力化・効率化投資が今後も拡大すると見込まれ、**増収増益の予想**。

売上高 **1,730.0** 億円 増減率 **16.6** %

営業利益 **60.0** 億円 増減率 **47.8** %

経常利益 **62.0** 億円 増減率 **29.8** %

親会社株主に帰属する
当期純利益 **42.0** 億円 増減率 **28.6** %

※増減率：2026年3月期実績比

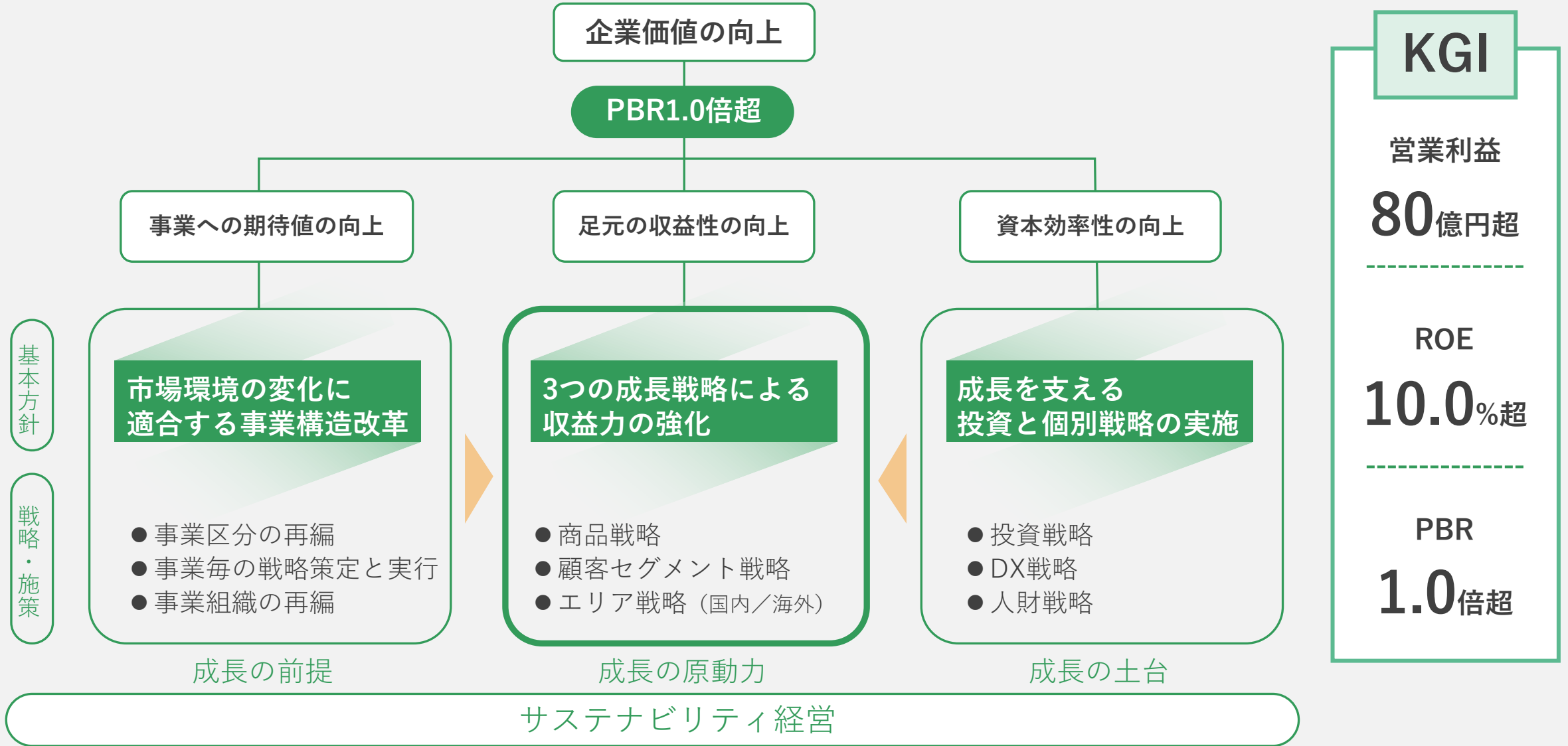
2025年度-2027年度
第12次 中期経営計画
“SUN-WA Growth Plan 2027”

価値ある提案力を高め、製造業の未来に貢献する

SGP

2027
SUN-WA Growth Plan 2027

第12次中期経営計画の骨子・経営目標



顧客セグメント別 1年目の結果

競争力強化セグメント

- **競争力強化セグメントでは、ロボット分野が成長を牽引するとともに、その他の各セグメントにおいても将来成長に向けた基盤づくりが着実に進展**

セグメント	戦略方針	主な取り組み内容	目標成長率 (CAGR) (※)	1年目成長率 (CAGR) (※)	対前期増減率
半導体 製造装置	独自の技術提案力と顧客基盤で業界に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 次世代技術を軸とした主要顧客との共同開発を推進 特定分野での戦略パートナー化を進め、高付加価値案件の創出を継続 	15%	△1.8%	6.6%
ロボット	市場拡大と技術進化で強みを発揮する	<ul style="list-style-type: none"> 市場拡大領域を捉えた、セキュリティ・リモート保守分野での提案強化 ネットワーク機器を起点とした付加価値提案により案件獲得を加速 	15%	25.2%	74.8%
工作機械	マザーマシンの高性能化・自動化・デジタル化で成長する	<ul style="list-style-type: none"> 工程集約・自動化を軸にしたソリューション提案を推進 産業用PC・メカ商材を組み合わせた提案力を強化し、将来成長基盤を構築 	12%	7.5%	0.9%

(※) 2022年度～2024年度の売上総利益に基づく年平均成長率

顧客セグメント別 1年目の結果

積極的投資セグメント

➤ 積極的投資セグメントでは、将来の成長を見据えた重点投資を継続し、事業拡大に向けた布石を着実に構築

セグメント	戦略方針	主な取り組み内容	目標成長率 (CAGR) (※)	1年目成長率 (CAGR) (※)	対前期増減率
医療機器	技術革新と社会的ニーズの変化を背景に規模拡大を狙う	<ul style="list-style-type: none"> 当社の強みを活かせる「画像診断装置」「検体分析装置」を中心に成長が見込まれる8つの重点カテゴリーを特定 主要メーカーとの協業を通じ、優良企業向けの提案力を強化し、案件創出を推進 	15%	5.5%	27.2%
社会インフラ	将来、基盤となるインフラ毎に共通する最適提案を発信する	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現に向けた、EV充電・再生可能エネルギー関連の成長分野を重点領域として特定 重点領域における新規顧客・新規案件の開拓を推進 	12%	10.6%	20.3%
車載	モビリティ進化を支える環境・安心分野で基盤技術強化を狙う	<ul style="list-style-type: none"> ADAS、HMI、インフラ連携など、モビリティ進化を支える分野への参入・取り組みを強化 電動化ニーズに対応した商品提案を通じて、既存および新規顧客との接点拡大と顧客満足度向上を推進 	12%	18.6%	39.1%

(※) 2022年度～2024年度の売上総利益に基づく年平均成長率

顧客セグメント別 1年目の結果

高効率化セグメント

- 高効率化セグメントでは効率化施策を推進したものの、FAコンポーネント業界における在庫調整および需要回復遅れの影響を受け、成長は限定的

セグメント	戦略方針	主な取り組み内容	目標成長率 (CAGR) (※)	1年目成長率 (CAGR) (※)	対前期増減率
FAコンポーネント	広い顧客層に多岐にわたる商品品種を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・主要メーカーとの連携による次世代ビックカスタマの深耕営業を推進 ・仕入先との拡販活動、新商材の発掘、SFA活用による情報共有に加え、展示会・技術交流への参画を通じて販売力、提案力を強化 	12%	△21.2%	△7.8%
専用機械	将来、基盤となるインフラ毎に、共通する最適提案を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション視点での専用機械向け自動化ニーズを捉え、提案機会の創出を推進 ・ロボットを中核とし、仕入先・Sierと連携した提案活動を通じて既存顧客の深耕を強化 ・展示会を活用した提案機会の創出、拡大を図り、高付加価値なFAソリューションを展開 	12%	△0.2%	13.4%

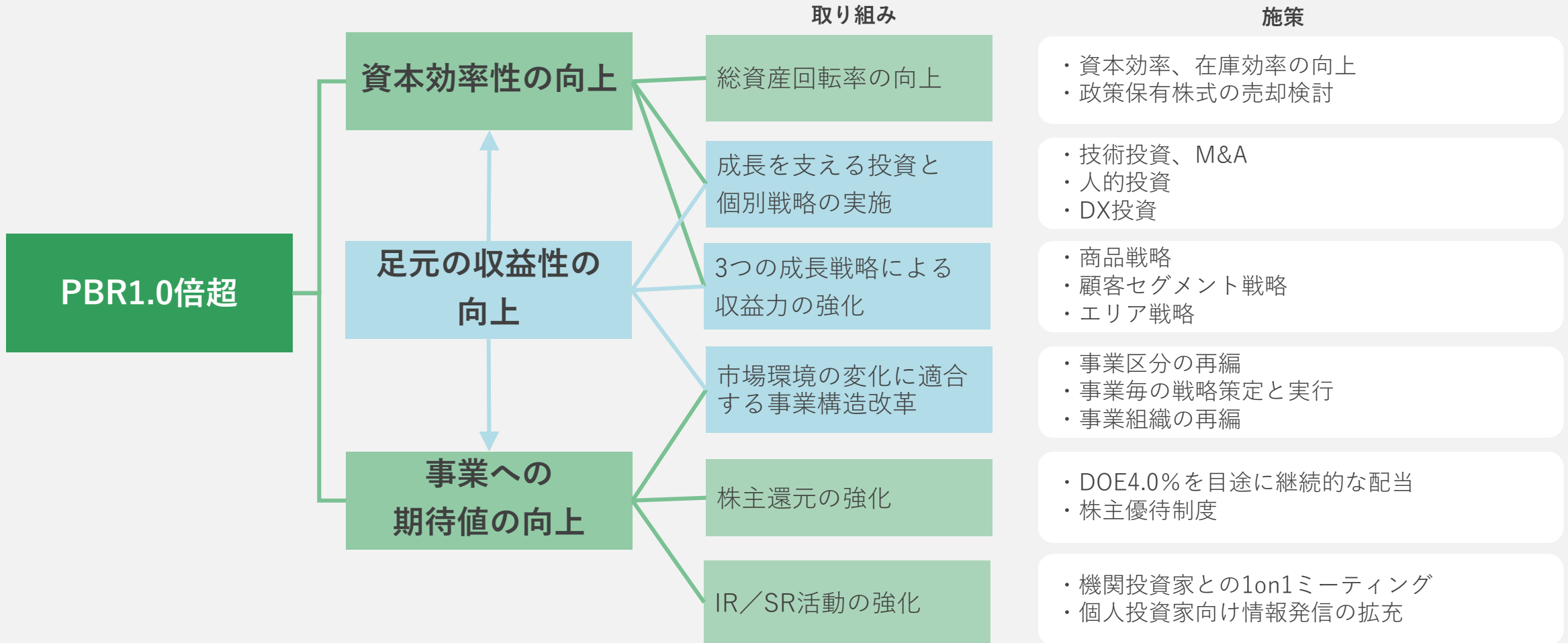
(※) 2022年度～2024年度の売上総利益に基づく年平均成長率



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

全体方針

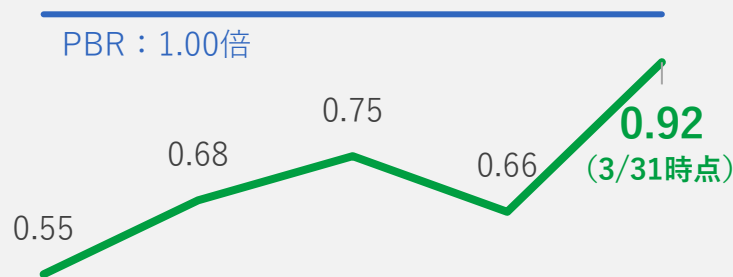
株主価値向上のために、『営業利益80億円超』『ROE10.0%超』『PBR1.0倍超』を経営目標値（KGI）として以下の取り組みと施策を実施



主要指標の推移

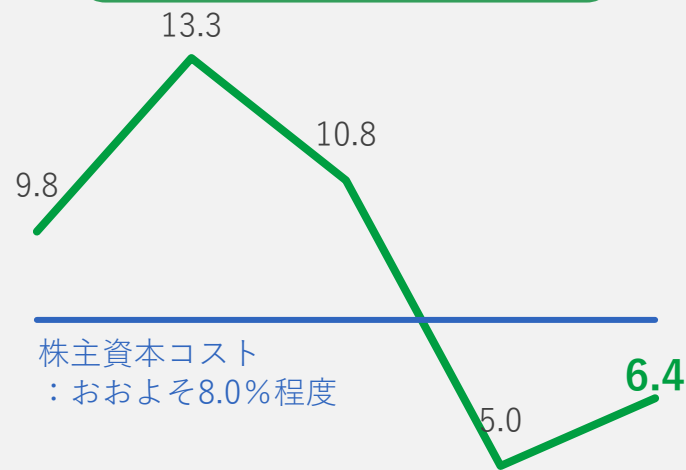
- ROE（資本効率性）およびPER（事業の期待値）の改善を通じてPBRは着実に上昇
- **成長事業への投資**を継続し、ROEが株主資本コストを安定的に上回る水準まで引き上げることで、**PBR1.0倍超の定着**および**さらなる向上**を目指す

PBR（倍）



PBR1.0倍超

ROE (%)



資本効率性の向上

PER（倍）



**事業への
期待値の向上**

2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期

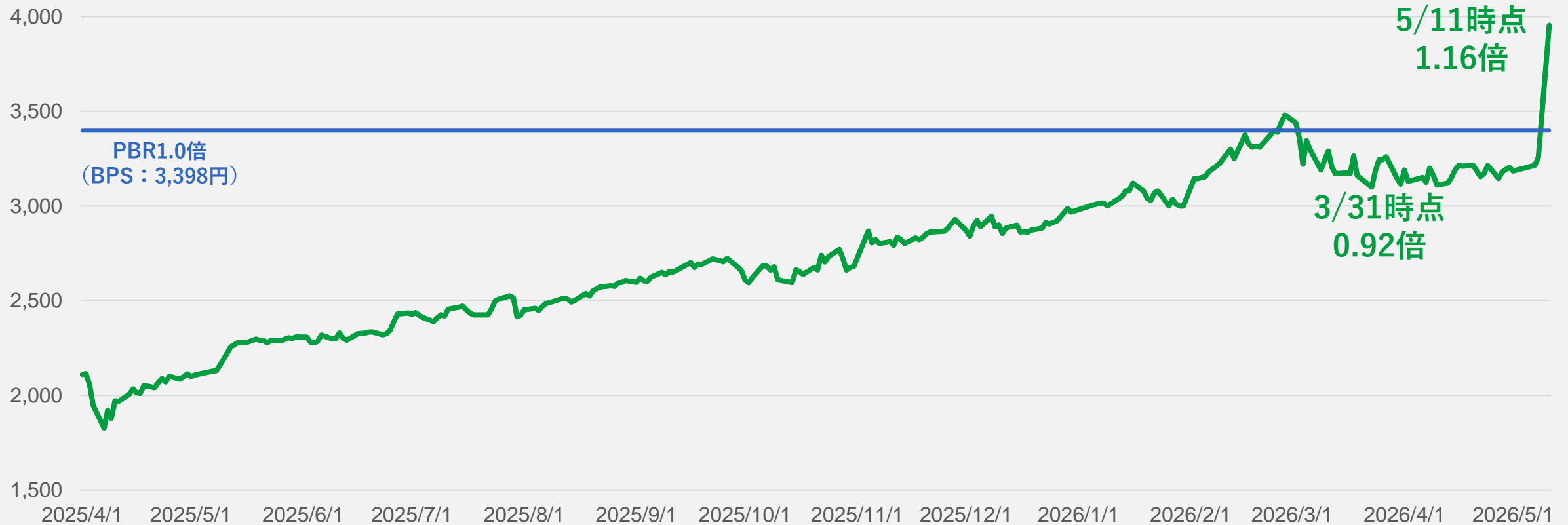
2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期

2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期

株価推移

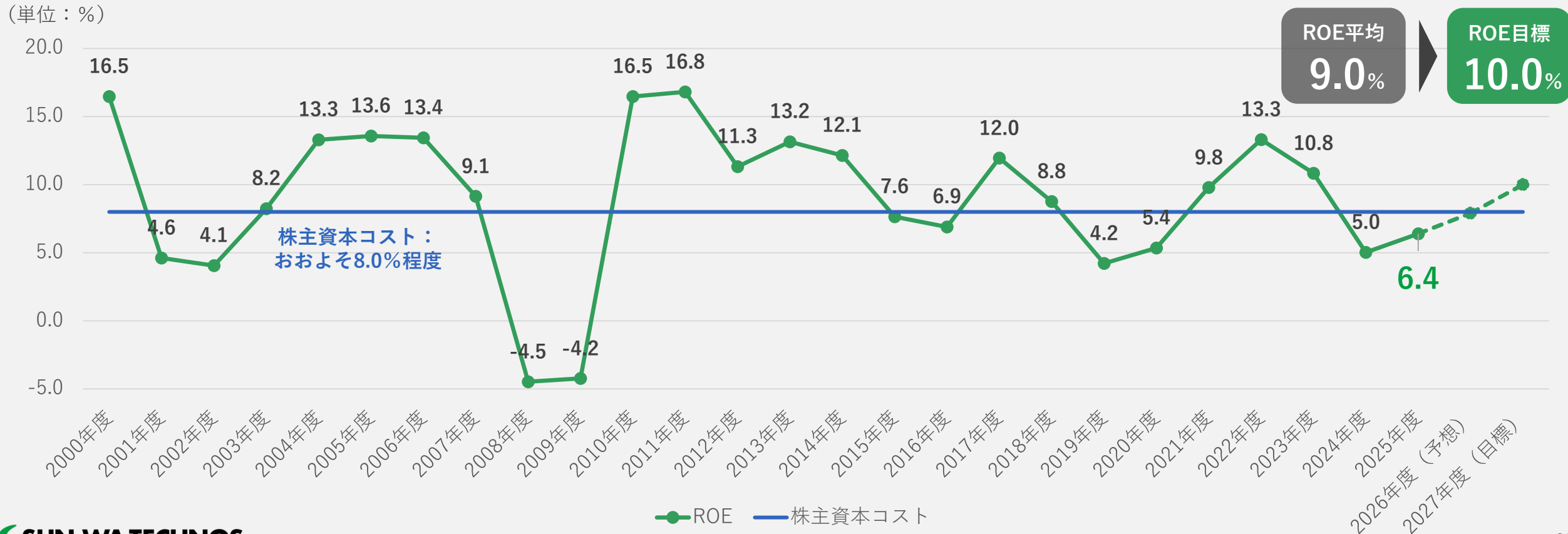
- ・ 足元ではPBR1.0倍超を達成
- ・ 今後もROEの改善を通じてPBR1.0倍超の定着およびさらなる向上を目指す

(単位：円)



ROEと株主資本コスト

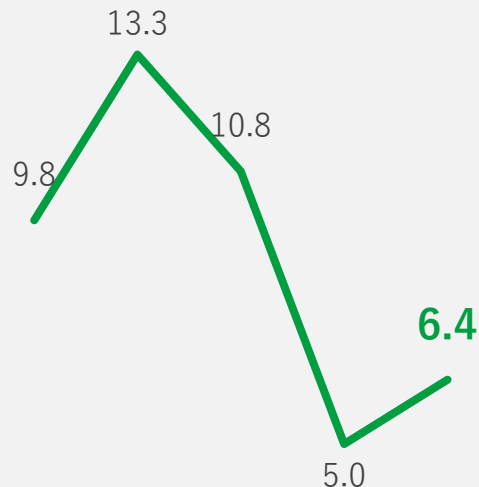
CAPM及び機関投資家との対話等を踏まえ**株主資本コスト**をおおよそ**8.0%程度**と認識
ROEは改善傾向ではあるものの、株主資本コストを下回る水準
ROE10.0%以上を目標に、資本収益性の継続的な改善に取り組む



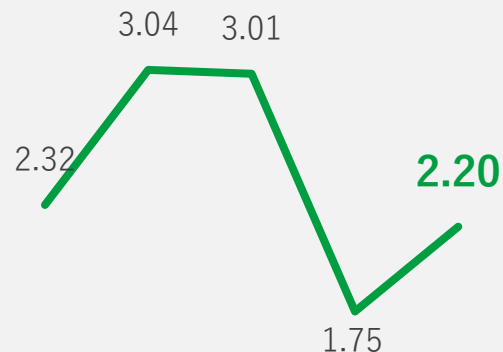
ROE改善に向けた主な改善アクション

ROEは2025年3月期から改善
売上高当期純利益率・総資産回転率・財務レバレッジはいずれも改善傾向

ROE (%)

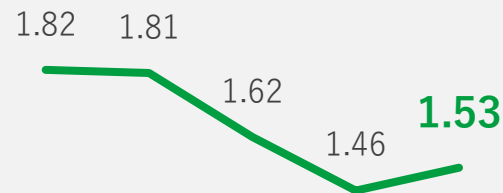


売上高当期純利益率 (%)



- 【主な改善アクション】
- ・ 中計推進による収益力向上
 - ・ 事業ポートフォリオ検討
 - ・ DXによる業務効率化
 - ・ M&A・アライアンス

総資産回転率 (回)



- 【主な改善アクション】
- ・ 在庫効率の向上
 - ・ 現預金の効率運用
 - ・ 政策保有株式の縮減検討

財務レバレッジ (倍)



- 【主な改善アクション】
- ・ 資本構成の最適化

2022年3月期
2023年3月期
2024年3月期
2025年3月期
2026年3月期

2022年3月期
2023年3月期
2024年3月期
2025年3月期
2026年3月期

2022年3月期
2023年3月期
2024年3月期
2025年3月期
2026年3月期

2022年3月期
2023年3月期
2024年3月期
2025年3月期
2026年3月期

主な取り組み

事業への期待値

機関投資家とのIR・SRミーティング強化

海外機関投資家への情報発信を強化



機関投資家との1on1ミーティング開催

30回/年

資本効率性

サンワ版ROICの導入

利益指標のみを重視した評価制度

資本効率性も重視した評価制度

事業への期待値

Webを活用したIR活動の強化（認知拡大）

Web広告



TVCM

事業への期待値

株主優待制度のさらなる拡充

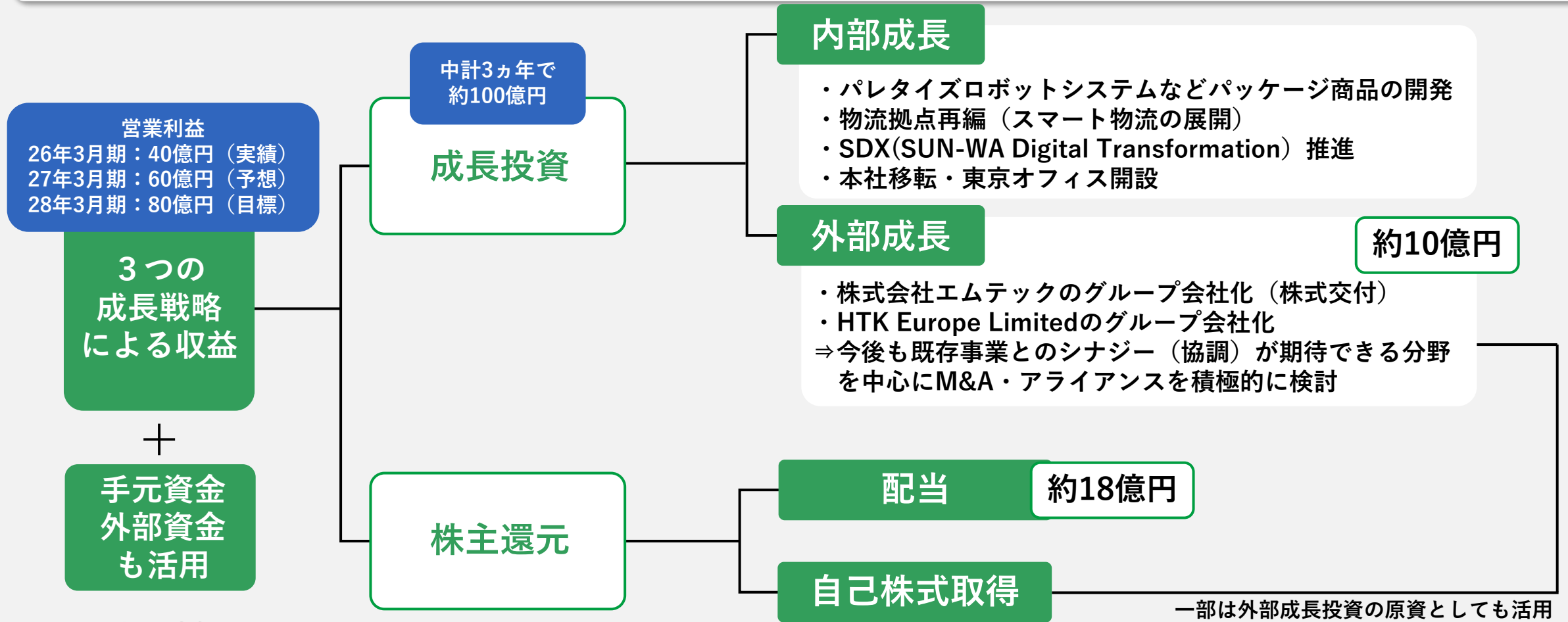
長期保有廃止

株式区分変更

電子ギフト

資本配分

- ・ SGP2027の達成に向け、成長投資を加速
- ・ 成長投資を優先しつつ、株主還元は配当に重点を置きながら、自己株式取得を機動的に検討



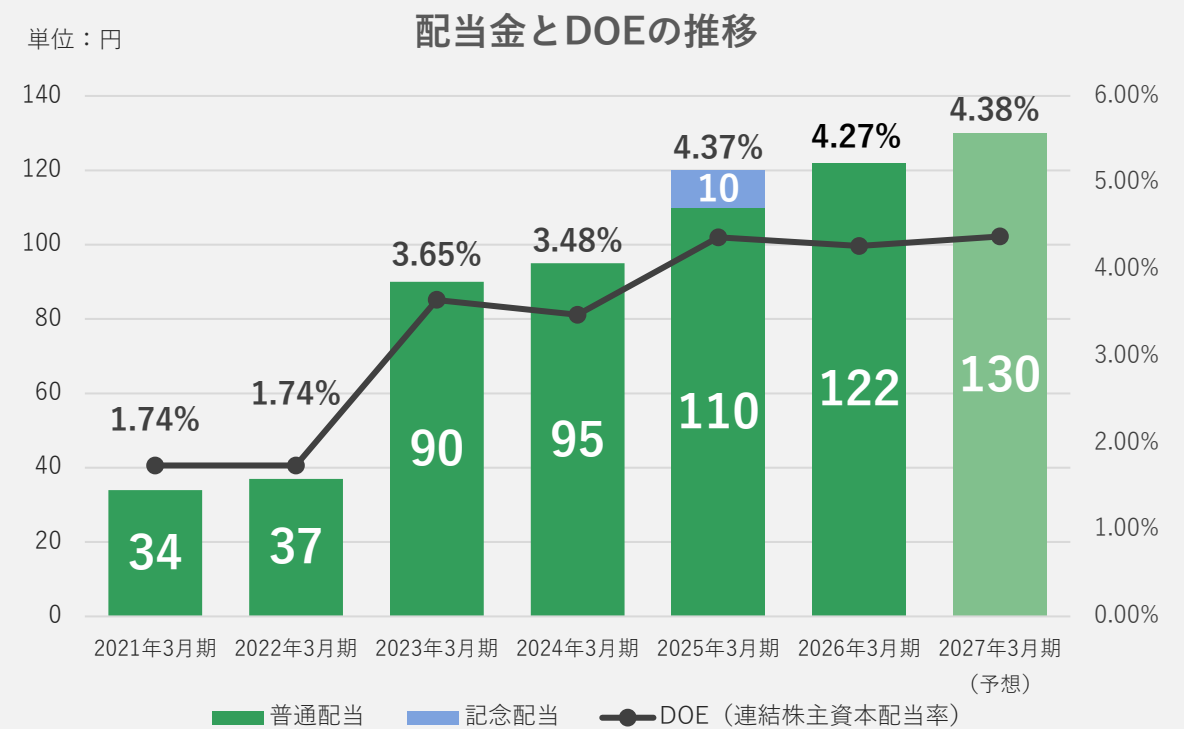
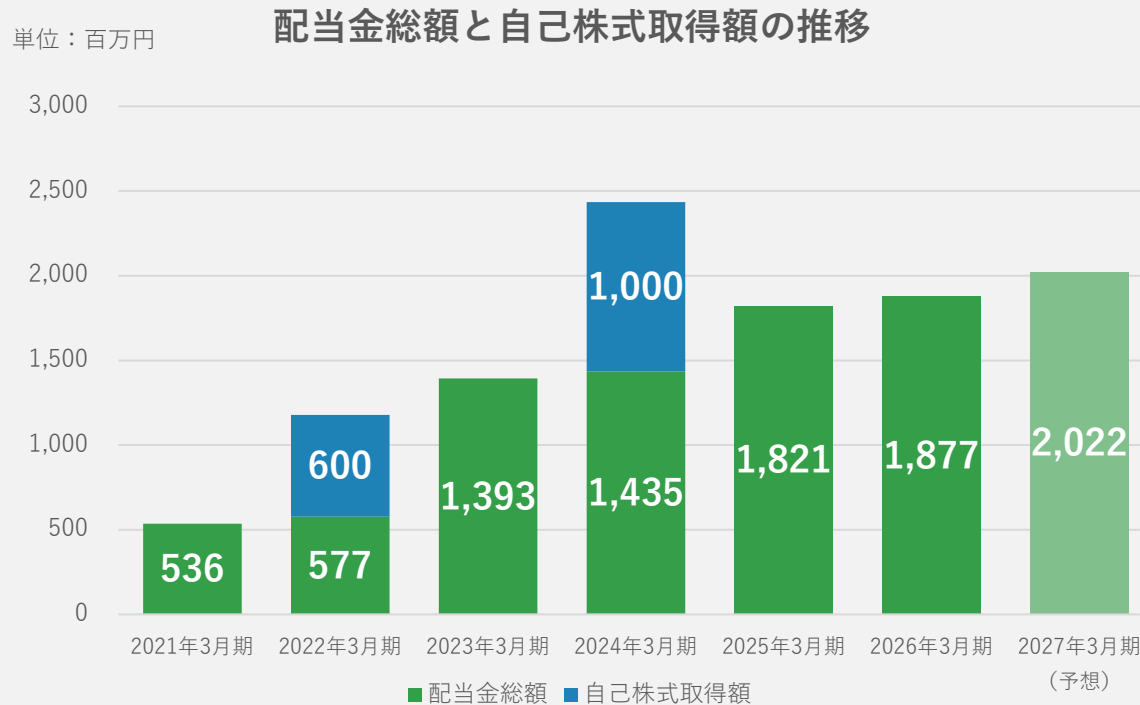


株主還元

株主還元方針と過去の推移について

株主還元方針

- ・ 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、**DOE4.0%以上を目途に**、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- ・ 2026年3月期の期末配当は、各段階利益が計画数値を上回ったことから**2円増配し**、**1株当たり62円** 中間配当60円と合わせて**1株当たりの年間配当金は122円**（DOE4.27%）
- ・ **2027年3月期配当予想は1株当たり130円**（中間配当65円+期末配当65円 DOE4.38%）



株主優待制度について

当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の認知度向上及び当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。当社株式への魅力を一層高め、新たに投資を始める方にも当社株式を保有していただき、また、新NISAの投資枠を柔軟にご活用いただけるよう、対象となる株主様の保有株式数に応じて電子ギフトを進呈いたします。

01

対象となる株主様

2026年3月末日現在の
当社株主名簿に記載または記録された

100株（1単元）以上

保有されている株主様より
変更後の制度を適用いたします。

02

株主優待の内容

対象となる株主様の保有株式数に応じて、
下記の金額分の電子ギフトを進呈いたします。

株式保有期間の制限なし

保有株式数	優待品目（電子ギフト）
100株～200株未満	2,000円分
200株以上～400株未満	5,000円分
400株以上～800株未満	10,000円分
800株以上～	20,000円分

03

進呈時期

3月末を基準日として、
定時株主総会にかかる招集通知に
「株主優待のご案内」を同封し、
年1回進呈いたします。



電子ギフト

PayPayポイント、dポイント、楽天ポイント
Amazonギフトカード、nanacoギフトなど

以上のように、高い成長性・収益性・安定性を求めて、
経営に努力して参りますので、
今後もより一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

Appendix

想定為替レートと為替感応度

	2027年3月期 想定為替レート	1円変動による影響額	
		売上高	営業利益
USD/JPY	148.0	499百万円	53百万円

※USD/JPYが変動し、他通貨も同じ比率で変化すると想定した場合の影響額

IRサイトのご案内

IRサイト

ステークホルダーの皆様に向けて、財務情報や経営方針、最新の業績情報などを分かりやすく提供しています。

<https://www.sunwa.co.jp/ir/>



説明会 動画

大和インベスター・リレーションズ様主催
サンワテクノス投資家向け説明会動画

<https://www.daiwair.co.jp/detail.cgi?code=8137>



お問い合わせ先

経営企画部 企画・IR課

〒104-0031
東京都 中央区 京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
TEL：03-5202-4011
FAX：03-5202-4054

お問い合わせ・IRミーティングのご希望はHPからでも承ります。

※ご相談窓口はこちら↓



本資料取り扱い上の注意点

- 本資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- 現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあります。
- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。